平成30年 2月 7日

質 問 事 項	回 答
・シールド機製作日数は工程を考えるうえでクリテ	
イカルパスになります。設計では製作日数を	製作期間を標準よりは短く設定しています。
何日お考えでしょうかご教示願います。	
11 100 1372 CON 370 C 3X13 M350 O1 7 0	
・設計の工程で設定されている不稼働係数をご教示	/
願います。	──一一一般工事1.7 シールド関連1.5
MARCO OC 7 0	
・シールドマシンの製作日数を考慮せずに標準歩	
掛にて工程を考えても現在の工期内で工事を完	
了することが無理と思われます。受注後の協議	 現状、工期の延伸は考えていません。
により工期延伸となる場合は設計変更の対象と	
考えてよろしいでしょうか。	
1372 201 300 200 770 0	
・設計で想定している作泥材を添加した区間の掘	
削残土の比重をご教示願いいます。	──比重は2.0で積算しています。
1777-17 TO BOLL C 1777-1779	
・設計で想定している作泥材を添加した区間の掘	軟弱土です。
削残土は、軟弱土、固化物、泥水のいずれの	1839— 47 6
単価で計上されているかご教示願います。	
・CJG排泥に関して代価表135号に、「軟弱土壌」	軟弱土です。
とあります。設計で計上されているのは、泥水	1775
、軟弱土のいずれが計上されているかご教示	
願います。	
· 裏込注入工(代価表138号)のB液で、単価表第	800です。
26号は1m3当り凝結剤が80m3となっています。	
80Lの誤りではないでしょうか?	
・図面58 分水人孔構造図にある組立1号の	協議の上対応します。
材料と、代価表第58号の内容が異なります。	
入札においては代価表の材料を考えてよろしい	
でしょうか。また、図面が正の場合は設計変更の	
対象と考えてよろしいでしょうか。	
・明細書第19号、代価表第63号では、15m以下	協議の上対応します。
となっています。図面78を見る限り打込み長さ	
は7mと思われます。設計で計上されている	
打設長をご教示願います。	
・図面No.57 既設セグメント接続推進部詳細図	
B-B'断面図では、FRPM管の外径 φ 2458と	
あります。薄肉管と思われます。しかし、代価	図面のφ2458が正です。
表第14号では、「外圧管 1種」となっていま	── また、管種については薄肉管で設計してい 
す。設計では、どちらが採用されているかご	
教示願います。	
1	

平成30年 2月 7日

FDDM体子汁/四细毒物4日) 共名元进士/	
·FRPM管工法(明細書第4号)、軌条設備工(	── 等辺山形鋼の縮小等で挿入延長が短いの
代価表109号)、鋼材(単価表2号)では、等辺	で、施工時の工夫で施工可能と考えます。
山形鋼9×75×75mmとなっていますが、鋼管の	
内径とFRPM管の外径の間に入りません。	
どのようにお考えでしょうかご教示願います。	
・代価表第204号に、中込材充填用の管材料と	受口部での離隔は無いですが、注入用パイ
して、硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管(VU)	プを受口手前まで設置し圧力で注入する、
50 60×1.8×4とあります。鋼管とFRPM管の	注入用パイプを小さくする、両側から注入す
間に設置することができません。どのように	る、鋼管とFEPR管を変心する等の対応で施し
お考えでしょうかご教示願います。	工可能と考えます。
63分んでしよりがと我小願いより。	= 3,32 3,43,7
	しまけれて建筑しています
・浚渫工 揚泥車運搬工で発生する泥水の比重	比重は1.4で積算しています。
をご教示願います。	
・浚渫工 揚泥車運搬工(代価表第97号)に、	──表記の「片道4Km」が誤記です。代価表に記し
「片道4km」の表記があります。設計で計上され	載されている住所地で積算しています。
ている距離が4kmであり、設計変更と対象と考	戦で40℃の位別地で復弁しているす。
えてよいかご教示願います。	
・二次覆工、代価表第152号(コンクリート打設	協議の上対応します。
配管設備工 据付・撤去)の鋼管損料(単価	133 133 17 - 17 17 18 18 18 17 18
表29号)の中に、覆工延長に伴う配管の損料	
が計上されていません。設計ではどこの項目	
か計工されているとん。設計ではここの項目	
1~前上されているかと叙小願いより。	
3074 H	
・発進坑ロエ、ゴムリング設置撤去工で使用す	── 平成29年度版推進工事用機械器具等損料 ┃
るゴムリング(坑口用)は、見積単価、大阪府	→ 参考資料を参考にしています。
公開単価のどちらを採用されているのかご	2 321122 3. 2 3. 3.7
教示願います。	
・代価表第162号 立坑内作業の仮設材賃料の中	
にH-150の賃料設定がありません。賃料日数	 設計数値についてはお答えできません。
と一日当たりの賃料をご教示願います。	また、修理損耗費が必要とは考えていませ
また、修理損耗費は計上されていませんが設計	h.
変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	
変更の対象に行えてあわしいでしょうが。	
- ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	
・設計で計上されている推進用の鋼管(内径	物価版より,鋼管の価格と外径エキストラを
φ 2594、外径 φ 2642) の材質、規格等をご教示	計上しています。
願います。また、材料単価は、見積なのか物価	
資料を基にしているのかご教示願います。	
・付帯工、工事ヤード内土砂搬出工(明細書第	ご考察のとおりです。
24号)では、積込、運搬、処分しか計上されてい	
ません。運搬する発生土はルーズな状態で現地に	
堆積されていて、掘削の必要はないものと考えてよ	
ろしいでしょうか。	

平成30年 2月 7日

	LATIN I
・代価表第191号に計上されている仮囲いの材料	ご考察のとおりです。
費は、「基本料金+賃料」の構成になっていませ	
ん。新品購入単価と考えてよろしいでしょうか。	
ご教示願います。	
・付帯工 仮囲い(既存) 代価表第95号に計上	ご考察のとおりです。
されている材料は、「既存の材料を買い取る」	また、価格についてはお答えできません。
ということでよろしいでしょうか。また、決定された	01/2( mm   m   1 = 0
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
元波千川とこ数小線があり。	
- 大工東弗内記書2百の「網括明戸笠工程原体」	
・本工事費内訳書3頁の「鋼橋門扉等工場原価」	── 諸経費も除いてください。
内訳書10号は、シールドマシン現地組立費、	
運搬費を除く購入費が計上されていると考えて	
よいかご教示願います。	
・代価表第116号 シールドマシン購入費は、現地	─────────────────────────────────────
組立工と運転指導員派遣費が計上されている	
と考えてよいかご教示願います。	
2 7 7 7	
  ・現地組立工と運転指導員派遣費は、見積単価	分割搬入による現地組立に要する費用は
と思われますが、組立中に必要となるクレーン費	
用は、その中に含まれると考えてよいかご教示	フ ルゴ 版為 八 岡 山 日 ひ り 。
願います。	
15 17 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	
・代価表第132号 機械器具損料1式に含まれる	設計数値についてはお答えできません。
機械名称、および設計で計上されている運転日、	
供用日、電力料をご教示願います。	
・明細書第34号 発生土処分工の「水槽(一般	設計数値についてはお答えできません。
工事用)の設計で計上されている供用日をご	
教示願います。	
- 裹込材(明細書第35号)、機械器具損料(代価	設計数値についてはお答えできません。
表139号)の機械器具損料の設計で計上されて	成計数値でするでは85日だでである。
公司の方の機械研究資料の設計で計工されて   いる運転日と供用日、電力料をご教示願います	
いる建転口と採用口、电力料をこ数小線いまり	
ンズ += ++ / PD / B - キ / なっ o D ) - 1/4 + 4 - B - B - 1 - 1/4 / / D / 西	
- 添加材(明細書第36号)、機械器具損料(代価	設計数値についてはお答えできません。
表142号)の機械器具損料の設計で計上されて	
いる運転日と供用日、電力料をご教示願いま	
す。	
・二次覆工機械器具損料(明細書第40号)の	設計数値についてはお答えできません。
機械器具損料等(代価表第151号)の機械器具	
損料等に含まれる機械名称と運転日、供用日	
電力料、軽油数量をご教示願います。	
ついてい 正角の主じー かい例が の / 0	
	 設計数値についてはお答えできません。
	以可数にこういてはの古んできません。
表第282号)の設計で計上されているH-250の	
賃料日数をご教示願います。	

平成30年 2月 7日

・立坑内作業(代価表第162号)の仮設材賃料の	設計数値についてはお答えできません。
日数をご教示願います。	
ロ奴とこれが順いるが。	
・シールド機発進用受台(代価表第163号)の仮	設計数値についてはお答えできません。
設材賃料の賃料日数をご教示願います。	
政内員行り以てこれが限いより。	
・シールド機仮発進(代価表第166号)の仮設材	設計数値についてはお答えできません。
賃料の賃料日数をご教示願います。	EXIT SELECT CHOOLEST CONC. 100
具科の具科ロ数をこ数小願いより。	
・軌条設備工(明細書第52号)の鋼材損料の	設計数値についてはお答えできません。
損料日数をご教示願います。	
	ニュールはしついてはわかこっとといく
・鋼管損料(代価表第295号)の給水管の損料	設計数値についてはお答えできません。
│ 月数をご教示願います。	
-鋼管損料 坑内(代価表第334号)の排水管	設計数値についてはお答えできません。
の供用月数をご教示願います。	
27 KUINI XX C C IX 1 MX C 64 7 6	
・鋼管損料 坑内整備用(代価表第335号)の排	設計数値についてはお答えできません。
水管の供用月数をご教示願います。	
ハロッドバババスとこうが、一般のであり	
•鋼管損料 φ25mm(代価表第336号)の裏込	設計数値についてはお答えできません。
用管損料の損料月数をご教示願います。	
711日 1571 (77 1571 77 35 2 2 35 7 7 7 15 0 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
・鋼管損料 φ50mm(代価表第337号)の裏込	設計数値についてはお答えできません。
用管損料の損料月数をご教示願います。	
713 El Den 199 Den 199 Sec El Den 1990 Grando	
・機械器具損料(代価表179号)の遠心ファンの	設計数値についてはお答えできません。
│ 設計で計上されている運転日数と供用日数を	
ご教示願います。	
- 2 3 3 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
・立坑クレーン設備工(明細書第57号)の鋼材	設計数値についてはお答えできません。
賃料 枕木の賃料日数をご教示願います。	
貝ががいり見が口致でこれが願いより。	
・水替工(内訳書第24号)のシールド水替工、	設計数値についてはお答えできません。
坑内中継水替工の運転日を各々ご教示願い	EXAMPLE 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ます。	
・機械器具損料(裏込注入)(代価表第197号)の	設計数値についてはお答えできません。
	HXHI MIEIC 20 CIBOJ E / CC & C / Co
グラウトポンプ、グラウトミキサ、ミキシングプラ	
│ ントの運転日数をご教示願います。	
- 推准与由亚ム凯里博士 / 少原主等 14 日 ) の	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
・推進反力受台設置撤去(代価表第11号)の	設計数値についてはお答えできません。
┃ 鋼材賃料の賃料日数をご教示願います。	
***************************************	
・機械器具損料(滑材注入)(代価表第324号)の	設計数値についてはお答えできません。
│ グラウトポンプ、グラウトミキサ、ミキシングプラ	
ントの運転日数をご教示願います。	
フェックに十以口 外でし TA 小原(v TO 7 0	
1	

平成30年 2月 7日

・機械器具損料(代価表第19号)の機械器具損	設計数値についてはお答えできません。
料1式に含まれる機械名称、運転日数、供用	
日数を各々ご教示願います。	
TORCH TO DAY MAY STAN	
	ション ション シャン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ショ
	設計数値についてはお答えできません。
をご教示願います。	
・仮設防音工基礎の設計で計上されている供用	設計数値についてはお答えできません。
日数をご教示願います。	BARTONIE. STORES EL CONTROL
ロ <del>奴 と C fx が Mg v · S · y · o</del>	
/ c   n   t   t   - / n   / n   + / c   n   n   -   -   -     -	=0=1 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
- 締切排水工(明細書第25号)の設計で計上され	設計数値についてはお答えできません。
ている運転日数をご教示願います。	
・内訳書第243号 シール・水替え工、坑内中継の	設計数値についてはお答えできません。
軍転日数をご教示願います。	
た ガロ 外で 「	+
・内訳書第19号 坑内整備工の一次覆工工事から	設計数値についてはお答えできません。
二次覆工工事の期間をご教示願います。	
・代価表第92 据付間接費(技術者・機器)の間接費率	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
	「「「小垣用設計保学が倒役【十成25年度」「ハンフ   場・処理場編に基づいて積算をしています。
を各々ご教示願います。	物・処理物補に基づいて傾昇をしていより。
・代価表第117号 セグメントは大阪府公表単価と比較	安価なものを採用しています。
して金額が高い分が諸経費の対象外になるのか	
ご教示願います。	
・代価表第89号 仮設費に計上している項目をご教示	──「下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
願います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
・代価表第88号 機械経費に計上している機械器具の	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
内訳とその日数をご教示願います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
I JANCE OF A SACE TANIAN OF 7 0	
	101/ 101/ 101/ 101/
・代価表第87号 輸送費に関して、輸送距離をご教示	13Kmを見込んでいます。
願います。	
・代価表第86号 技術労務費に関して、技術者(据付	設計数値についてはお答えできません。
・組合試験)の人数を各々ご教示願います。	
「日日は190万/マンノン多人に日、これない例えて、ひょう	+
	記されたについてはかなってもより!
・代価表第85号 一般労務費に関して、電工、普通・	設計数値についてはお答えできません。
特殊作業員の人数を各々ご教示願います。	
・代価表第83号 補助材料費 主材費にかける率を	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
一で数示願います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
	S ALL SAME LE CO CIRTE CO CO O 7 0
・代価表第82号 直接材料費に含まれる各付属材料	─ 下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
(ケーブル・電線管等)の規格と数量を各々ご教示願	場・処理場編に基づいて積算をしています。
<u>, _+</u> _	
います。	
います。	+
	下水洋田設計煙淮朱掛圭【亚は20年度】ポンプ
・代価表第75号 仮設費に計上している項目をご教示願います。	

平成30年 2月 7日

小原主体34日 地球の井に引している地球四日の	
・代価表第74号 機械経費に計上している機械器具の	──下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
内訳と、その日数をご教示願います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
	101/ 101/ 101/11
・代価表第73号 輸送費に関して、輸送距離をご教示	13Kmを見込んでいます。
願います。	
- 代価表第72 機械設備据付工の人数をご教示願	設計数値についてはお答えできません。
います。	
- 代価表第2号,3号 役務費の月数と電力量をご教示	設計数値についてはお答えできません。
願います。	
・代価表第1号 電力設備に関して、各設備の仕様・	別途資料を添付します。
数量をご教示願います。	
-明細書第27号 電気設備工(単独)の経費区分を	一下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
ご教示願います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
・明細書第21号 電気設備工の経費区分をご教示願	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
・歩掛と単価の適用年月を各々ご教示願います。また、	平成29年8月です。安価な方を採用していま
物価資料の二誌平均か安値かご教示願います。	す。
- 明細書第20号 機械設備工の経費区分をご教示願	下水道用設計標準歩掛表【平成29年度】ポンプ
います。	場・処理場編に基づいて積算をしています。
・内訳書第8号 安全費について、警備員(補助分・	設計数値についてはお答えできません。
単独分)の各人数をご教示願います。	
・スクラップは諸経費の対象外かご教示願います。	対象です。
・電力料に再生可能エネルギー発電促進賦課金及び	含んでいません。
燃料調整費を含んでいるかご教示願います。	
#=7/1 #/ # P4 0 0 F 7 0 W / 0 ~ P 15 T 15	
・特記仕様書P10、3-5その他(2)で見積価格調書を	──徴収された見積りのうち、応札金額に採用された ──メーカーの写しを、内訳書の後に添付してくださ
提出しなければならないとの記載があります。①②③の	一い。
各様式をご提示願います。	― なお、表紙は「見積価格調書」とし、工事名、会社
	名を記載してください。
・可とうセグメントの割付位置について、発進立坑から	発進立坑部の管位置は、耐震設計上の基盤面内
地山区間に移行する箇所に設置する計画になって	に計画しているからです。
いません。その理由を教示願います。	
・可とうセグメントの割付位置について、No.34+9.673の	── ──耐震設計上の基盤面と表層との境界部に計画し
位置に設置することになっています。その理由を	
ご教示願います。	

平成30年 2月 7日

#### 工事名 松下菊水放流幹線築造工事

・坑内整備工は、下水道用設計標準歩掛表平成29年度に	シールド根准を中央国際独の手並せを進入
『一次覆エエ事から相当期間を経て二次覆エエ事を施工	シールド掘進を守口調節池の手前まで進ん
する場合に「坑内整備工」を計上する』と記載されています。	でから凍結工行うため計上しています。
供用日を何日でお考えでしょうかご教示願います。	
・発進立坑において、FFU壁切削の日進量は初期掘進の	初期掘進の日進量と同じとしています
日進量と同様と考えてよろしいでしょうか。	
・守口調節池は供用されているのでしょうか。供用していない	工事中であり、供用していない
場合、松下菊水放流幹線工事で守口調節池に接合する	
時点では供用されていないものと考えてよろしいでしょうか。	
・守口調節池との接合部において、本工事施工のために	松生立坑 内径 Ø 10m
守口調節池に入る必要があります。地中接合位置に最も	
近い守口調節池の人孔の場所と大きさをご教示願います。	
・本町松下幹線において、通常の水位と大雨時の水位を	晴天時はMax0.171㎡/Sが流下量と考えて
ご教示願います。	います。計画流量における水深は2.73m
・本町松下幹線に入るにあたり、接合位置に最も近い本町	第2ポンプ場
松下幹線の人孔の場所と大きさをご教示願います。	

#### \* 守口市 総務部 総務課 契約係

FAX:06-6993-3484

メールアト・レス: Mori\_soumu@city-moriguchi-osaka.jp